

川平地区 社協だより

第81号

令和元年10月1日発行

川平地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 伊東 祐朗
編集 地区社協広報部

地域のボランティア活動のすすめ

会長 伊東 祐朗

8月23日、7人の在仙の高校生がやってきました。
“かわだいラッコ”（川平っ子の子育てサロンの愛称）の名で知られる
ボランティア体験をするためです。この日はあいにくの雨模様。
親子2組の5名という少数の参加でした。

子育て支援のスタッフは、社協と子育て支援ボランティアを
合わせて9名。これだけで迎えるチームとしての人員は十分です。
果して夏ボラ体験の7人の高校生に活躍の場はあるのか・・・？

でも、それは杞憂のことでした。感想や記録からも分かりました。



図書室での自由遊び。簡単な打ち合わせの後、大まかな活動をイメージしての本番。子育て支援ボランティアの方々がいくつかの遊びの中に高校生と親子が入りやすいように動機づけをし、リードを高校生の皆さんに渡すと、元気な声、笑い声、拍手がいっぱいの活動となりました。乳幼児親子と高校生、中高年のスタッフとの異年齢の交流は短時間であっても実に満足そう。中でも「子育て支援ボランティア」の方々の随所に感じるふんわりした温かいマンパワーは素晴らしく、得がたく貴重そのものと感じました。これからも進んで取り組んでみたい方々をお待ちしております。

嬉しくなって、11月2日実施予定の日赤研修会には、部分的に並行して実施する「炊き出し」のボランティアの募集を話題としていきたいと思っています。

平成31年度 川平地区社会福祉協議会総会開催

平成31年4月14日、川平コミュニティセンターにて、「平成31年度 川平社会福祉協議会総会」が開催されました。

《平成31年度 事業計画》

1 福祉活動について

(1) 「小地域福祉ネットワーク活動」の推進

- 高齢者、障害者等世帯の安否確認活動への支援
- 日常生活支援活動や福祉活動への支援
(平成31年度社会福祉協議会会費納入額の25%を各町内会に助成)

(2) 高齢者対象の「いきいきサロン」の推進（川平赤十字奉仕団共催）

- 65歳以上の一人暮らしの方及び70歳以上の方
- 1回当たり8,000円助成（社協より5,000円、日赤より3,000円）
(年6回まで申請により助成、報告書の提出必要)

(3) 乳幼児対象の子育てサロンの推進（川平赤十字奉仕団共催）

- 子育てサロン「かわだいラッコ」を年14回開催。
うち4回は川平マイスクール児童館と共催（うち1回は中山市民センターも共催）
- 対象：未就学児の親子・家族・妊婦

2 募金活動について

- (1) 日本赤十字社社資 5月1日～ 6月30日・・・日本赤十字社の社員増強運動実施
- (2) 社会福祉協議会会費 7月1日～ 8月31日・・・会員増強運動実施
- (3) 赤い羽根共同募金 10月1日～11月30日・・・全国一斉共同募金運動実施

3 研修活動について

- (1) 福祉活動研修会 高齢者福祉などについて（7月予定）
- (2) 日赤奉仕団研修会 非常災害時の対応などについて（10月予定）
- (3) その他の研修会 役員の研修会・・・福祉施設・介護施設などの見学や講話
炊き出し研修・・・非常用炊飯器オプションパーツの活用など

4 広報活動について

- 「川平地区 社協だより」の発行（年間2回）
No.81号（2019年10月） No.82号（2020年3月）
- 「各町内会や各種関係団体の福祉活動の紹介」
「各種研修会・講習会の広報と行事報告」等

- 5 青少年健全育成活動支援について
 ○桜丘中学校青少年健全育成協議会への助成
 ○中山中学校青少年健全育成協議会への助成
 ○川平学びのミュージアム推進委員会への助成
- 6 各種行事・研修等への参加について
 ○川平学区連合町内会、福祉関連機関などの行事や会議への積極的な参加
 ○川平学区連合町内会、福祉関連機関などの研修会への積極的な参加
- 7 その他
 ○川平赤十字奉仕団倉庫（中山八丁目21番68）の救護装置資材の保管と活用



総会の様子

令和元年度役員・理事一同



《令和元年度 社協収支予算》
 （平成31年4月1日～令和2年3月31日）

○収入の部 (単位:円)				
科目	前年度決算額(A)	本年度予算額(B)	比較増減(B-A)	付記
1会費	791,600	791,600	0	2,630名
1)普通会費	783,600	783,600	0	2,622名
2)特別賛助会費	8,000	8,000	0	8名
2助成金	740,300	740,300	0	社協助成1/2 395,800 小地域福祉センター推進事業等助成金 基礎的活動 210,000 ・生活支援活動(日常生活支援・その他) 71,500(下掲分)63,000(上掲分)
3委託金	50,600	50,000	△ 600	共同募金運動に伴う事務活動推進費
4負担金	24,700	30,000	5,300	研修会等参加負担金
5寄付金	50,000	50,000	0	
6諸収入	18,007	30,000	11,993	預金利子等
7繰越金	488,926	455,020	△ 33,906	平成30年度からの繰越金
合計	2,164,133	2,146,920	△ 17,213	

○支出の部 (単位:円)				
科目	前年度決算額(A)	本年度予算額(B)	比較増減(B-A)	付記
1会議費	78,517	80,000	1,483	総会 理事会 役員会 監事会 新年会等
2旅費	40,000	50,000	10,000	各種会議及び研修会等出席旅費
3渉外費	39,452	55,000	15,548	慶事等
4需用費	48,329	55,000	6,671	事務用消耗品 印刷代 コピー代 振込手数料
5役員費	49,000	60,000	11,000	通信代
6事業費	409,468	432,900	23,432	
1)サロン活動費	186,861	210,000	23,139	いきいきサロン助成 子育てサロン活動
2)ネットワーク活動費	197,900	197,900	0	小地域福祉活動の助成(広域健康活動等) 各町内会に社協会費納入額×25%助成
3)募金活動費	24,707	25,000	293	共同募金推進活動助成
7研修費	62,801	60,000	△ 2,801	研修会
8広報費	137,436	130,000	△ 7,436	地区社協だより その他
9青少年育成助成金	30,000	30,000	0	桜丘中学校区青少年育成協議会 中山中学校区健全育成協議会 マイスター川平学びのミュージアム推進委員会10,000
10送付金	791,600	791,600	0	社協への会費納入
11諸費	14,077	17,000	2,923	ボランティア活動行事保険
12予備費	8,433	385,420	376,987	
小計	1,709,113	2,146,920	437,807	
繰越金	455,020	0	△ 455,020	令和2年度への繰越金
合計	2,164,133	2,146,920	△ 17,213	

《令和元年度 日赤収支予算》
 （平成31年4月1日～令和2年3月31日）

○収入の部 (単位:円)				
科目	前年度決算額(A)	本年度予算額(B)	比較増減(B-A)	備考
日赤交付金	279,282	279,282	0	日赤旭市地区本部青葉区地区からの助成 ①第1回奉仕団事務費 70,500 第2回奉仕団事務費 93,482 ②赤十字奉仕団活動奨励事業費 95,000 赤十字奉仕団基礎研修助成20,000
諸収入	2	4	2	預金利子 他
繰越金	308,223	286,379	△ 21,844	平成30年度からの繰越金
合計	587,507	565,665	△ 21,842	

○支出の部 (単位:円)				
科目	前年度決算額(A)	本年度予算額(B)	比較増減(B-A)	備考
1会議費	48,220	45,000	△ 3,220	総会 理事会 役員会 監事会 新年会等
2事務費	45,701	67,000	21,299	
①消耗品費	8,701	13,000	4,299	銀行振込手数料 事務消耗品 プレ代 印刷代
②交通費	22,000	36,000	14,000	各種会議及び研修会 事務手続等
③通信費	0	3,000	3,000	切手代 通信代
④渉外費	15,000	15,000	0	慶事等
3事業費	207,207	250,000	42,793	
①研修費	37,715	60,000	22,285	川平赤十字奉仕団研修会 リーダー研修会
②高齢者福祉費	106,962	120,000	13,038	いきいきサロン活動 子育てサロン活動
③広報費	37,888	30,000	△ 7,888	チラシ 会報等
④募金活動費	24,642	30,000	5,358	日赤会費活動助成
⑤諸費	0	10,000	10,000	ボランティア保険 等
4予備費	0	203,665	203,665	
小計	301,128	565,665	264,537	
繰越金	286,379	0	△ 286,379	令和2年度への繰越金
合計	587,507	565,665	△ 21,842	

《平成31年度 役員名簿》

任期 平成31年4月1日～令和2年3月31日

職 名	氏 名	推薦団体	担当業務
会 長 (兼) 赤十字奉仕団 団長	伊東 祐朗	川 平 団 地	全般
副 会 長 (兼) 赤十字奉仕団 副団長	阿部 幸子	中 山 北 部	会長・団長補佐 会計全般
副 会 長 (兼) 赤十字奉仕団 副団長	菅 沼 勇	川 平 団 地	会長・団長補佐 総務全般
総 務 部 長	山本 卓子	西 勝 山	総務全般
福 祉 部 長	矢野 博子	民 児 協	福祉全般
募 金 部 長	豊間根義明	杉 崎	募金全般・募金責任者
広 報 部 長	佐藤 年夫	民 児 協	広報全般
総務副部長	伊藤 憲次	民 児 協	総務補佐
経理副部長	吉 田 武	民 児 協	経理補佐
福祉副部長	若生 道子	杉 崎	福祉補佐
募金副部長	石引 健慈	中 山 北 部	募金補佐・募金責任者
広報副部長	坂田 進洋	川 平 団 地	広報補佐
福祉活動推進員	遠藤 雅利	民 児 協	福祉活動推進
福 祉 部 員	中野 智美	川平わかば	福祉補佐・募金責任者
福 祉 部 員	石澤 恵子	民 児 協	福祉補佐
福 祉 部 員	和泉 忠男	西 勝 山	福祉補佐・募金責任者
福 祉 部 員	小野寺輝彦	民 児 協	福祉補佐
募 金 部 員	北村 真美	川平わかば	募金補佐
募 金 部 員	谷岡 洋志	川 平 団 地	募金補佐・募金責任者
募 金 部 員	遊佐 洋子	西 勝 山	募金補佐
監 事	三浦ひろ子	民 児 協	監査全般
監 事	岩 谷 浩	中 山 北 部	監査全般

○川平赤十字奉仕団では、団長・副団長以外の役員は「団員」となります。

○各町内会の福祉部長が募金責任者となります。

令和元年度 川平地区社会福祉協議会 福祉活動研修会

令和元年7月14日、川平コミュニティセンターにて、令和元年度川平社会福祉協議会福祉活動研修会「これからも健康で生活するために」が開催され、70名の参加がありました。

《内容》

○ 研修名

これからも健康で生活するために ～フレイルと介護予防～

○ 講師

仙台市青葉区家庭健康課母子健康係 保健師 須田 香奈 様
 〃 健康増進係 係 長 畠山 明美 様
 〃 健康増進係 栄養士 川村 糧子 様

「フレイル」という言葉をご存知ですか？或いは聞いたことがありますか？という問いかけで研修会は始まりました。須田保健師さんからは、「フレイルとは『虚弱』と訳され、介護予防のキーワードである。フレイルにならないためには、栄養・運動・社会参加が重要である」との話がありました。後半は、川村栄養士さんから食事に関するクイズや夕食・朝食に何を食べたかなどのチェックリストへの記入など、グループ毎に話し合い大いに盛り上がりました。また、たんぱく質を上手に摂取する方法、食事が進まない時や減塩の工夫、水分補給のタイミング、共食の大切さなどを教わりました。

質疑応答では、食べる順番、糖尿病への対応、減量、睡眠、偏食等への質問があり、一つひとつに丁寧に回答を頂きました。運動により、貯金より貯筋し、積極的な社会参加により、フレイルは予防できることを学びました。

(川平地区社協 福祉部長・記)



《令和元年度 日赤活動資金（会費）御礼報告》

令和1年8月17日

会員各位

令和1年度 日赤活動資金(会費)御礼報告

川平赤十字奉仕団
 団長 伊東 祐朗
 川平地区社会福祉協議会
 会長 伊東 祐朗
公印省略

赤十字活動資金(会費)募金活動に、ご協力いただきありがとうございました。
 「赤十字の活動は、国や地方自治体からの補助金はなく、赤十字の人道的な活動に賛同していただいた皆様からお寄せいただく活動資金(会費)により成り立っています。」
 皆様の善意が赤十字事業に多くの支援となることを願い、集計結果のご報告とさせていただきます。

区域名	人数	会費合計額	奉仕員氏名
川平団地町内会	1,023	413,100	谷岡 洋志
川平わかば町内会	173	50,536	中野 智美
西勝山町内会	631	297,350	和泉 忠男
杉崎町内会	257	121,900	若生 道子
中山北部町内会	585	292,500	石引 健慈
5区域	2,669	1,175,386	

《問い合わせ先:経理部 阿部 幸子》

《子育てサロン》

子育てサロン「かわだいラッコ」は、6月29日、中山市民センター、川平児童館、子育て支援クラブとの共催で開催しました。当日はママだけでなく、パパも参加してくれ、小学生、地域の方など多くの方が遊びに来てくれました。内容はボランティア団体「空とぶクレヨン」さんによる「お楽しみ会」でした。出演者は二人（男性）の方で、一方は全身におもちゃのギターや風船等色々な物をぶら下げて、他方は本物のギターを持って登場し、ギャグや歌、踊り、コントなどで会場を沸かせ、子どもから大人まで十分楽しみ、賑やかなサロンとなりました。

8月23日は、毎年恒例になっている「2019夏のボランティア体験会」に高校生7名が来てくれました。今年は台湾から2名、タイから1名の留学生も参加して、日本の文化（お手玉や指人形）に触れていただきました。高校生たちは、男の子のボール遊びやかけっこの相手にしてくれたり、絵本を読んでくれたり、ままごとの相手になったりなどと、皆さん子どもが好きなようで、見ていて癒しになりました。

最後にスタッフの方々と交流し、それぞれ良い体験となったようでした。

(川平地区主任児童委員・記)

子育てサロンの様子



高校生のボランティアさんと



令和元年度下期 「かわだいラッコ」 開催予定日

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 10月11日（第2金曜日） | 1月24日（第4金曜日） |
| 10月25日（第4金曜日）児童館と共催 | 1月31日（第5金曜日）児童館と共催 |
| 11月15日（第3金曜日） | 2月28日（第4金曜日） |
| 12月13日（第2金曜日）児童館と共催 | 3月6日（第1金曜日） |

※ 子どもたちと一緒に遊んでくれるボランティアを随時募集しています。

連絡先 矢野博子：

山内淑江：

編集
後記

今年度、最初の発行となります。今年度もより読みやすく、読み応えのある紙面となるよう努めてまいります。

《編集スタッフ一同》

